

## 評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年10月12日

|       |                                   |       |                                 |
|-------|-----------------------------------|-------|---------------------------------|
| 事業所番号 | 2775300532                        | 評価機関名 | 特定非営利活動法人<br>近畿マネジメント・サポート・センター |
| 法人名   | 医療法人 仁済会                          | 所在地   | 大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号           |
| 事業所名  | 医療法人 仁済会グループホーム高石                 | 評価調査日 | 平成 21 年 10 月 9 日                |
| 所在地   | 高石市高師浜三丁目3番31号<br>電話 072-263-5706 | 評価確定日 | 平成 21 年 10 月 13 日               |

【情報提供票より】 (平成21年9月11日事業所記入)

## (1) 組織概要

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 開設年月日 | 平成16年12月1日                 |
| ユニット数 | 1 ユニット 利用定員数 9人            |
| 職員数   | 10 常勤 6人 非常勤 4人 常勤換算 7, 4人 |

## (2) 建物概要

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 建物の構造 | 鉄筋コンクリート造<br>5階建ての5階部分 |
|-------|------------------------|

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

|                      |  |        |         |
|----------------------|--|--------|---------|
| 家賃 (1月)              | 42,000円  | その他の経費 | 20,000円 |
| 敷金                   | <input checked="" type="checkbox"/> 無 ( )                    |        |         |
| 保証金の有無<br>(入居一時金を含む) | <input checked="" type="checkbox"/> 有 150,000円<br>償却 3年 返却なし |        |         |
| 食材料費                 | 朝食   | 円      | 昼食      |
|                      | 夕食   | 円      | おやつ     |
|                      | または1日当たり   |        | 1400円   |

## (4) 利用者の概要 (9月11日現在)

|       |     |      |     |    |      |
|-------|-----|------|-----|----|------|
| 利用者人数 | 9名  | 男性   | 2名  | 女性 | 7名   |
| 要介護1  | 1名  | 要介護2 | 0名  |    |      |
| 要介護3  | 3名  | 要介護4 | 4名  |    |      |
| 要介護5  | 1名  | 要支援2 | 0名  |    |      |
| 年齢 平均 | 90才 | 最低   | 74才 | 最高 | 102才 |

## (5) 協力医療機関

|         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 協力医療機関名 | 綾園歯科<br>高石病院(内科 リハビリテーション科) |
|---------|-----------------------------|

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

ホームの母体は、高石病院として50年以上、地域の医療・介護・福祉で活動している医療法人で、病院の5階に別棟として設置され、活動しています。ケアは一人ひとりの介護記録を基に続けられ、利用者は和やかな雰囲気の中で生活し、昨年秋には以前から念願としていた全員揃っての一泊旅行を行い、長年の想いを叶えました。職員は管理者とチームワークで、日々の介護と研修に励んでいる

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |   |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)   |
|       | 運営推進会議で校区福祉委員さんのご尽力で幼稚園、小学校等との交流が進められるようになりました。又、職員の研修は病院の4つの専門委員会に所属して、夫々の研修会等が年に数回あり、受講してレベルアップを図っている   |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)   |
|       | 前回評価での主な改善課題をはじめ、問題解決については、管理者、計画作成者を中心として意欲的に取り組んでいる。今回の自己評価の作成についても同様にして作成している  |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)   |
|       | 運営推進会議は3ヶ月毎に開催され、ホーム側の詳細な経過報告のあと、出席委員から夫々の情報提供と各種質疑が行われている。校区の委員さんには何かとご支援とご協力を頂いている  |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)   |
|       | 毎月の文書発送には写真入りの、一人ひとり、項目別に分かり易くまとめた近況報告が送られている。又、来訪時には詳細な説明がされており、ご家族アンケートには肉親でも出来ない日常の介護を受けているので安心だと、ご満足を頂いています   |
| 重点項目⑤ | 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)  |
|       | 施設が病院の5階にあり、見晴らしは良く、道路からは見えにくいのが残念です。又、高石市の市域があまり広くないので、利用者は散歩がてら、ご自身の旧の住所付近の喫茶店に行き、顔見知りの方々との懐古の交流を図っています。高石まつり(10月)にはホーム前をだんじりが通るので、例年、利用者も「はっぴ」を着て道端でお迎えしています |

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

| 外部                          | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○<br>印 | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|---|--------|-----------------------------------|
| <b>I 理念に基づく運営</b>           |    |  |   |        |                                   |
| <b>1 理念と共有</b>              |    |  |   |        |                                   |
|                             | 1  | ○ 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                   | 理念<br>1・その人らしく生きがいのある暮らしのお手伝い<br>2・生活のパートナーとして互いに支えあえるホームづくりとしている       |        |                                   |
|                             | 2  | ○ 理念の共有と、日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                      | 毎朝、ホームの理念に沿った介護を確かめ合っている  |        |                                   |
| <b>2 地域との支えあい</b>           |    |  |   |        |                                   |
|                             | 3  | ○ 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている                 | 高石校区福祉委員会会長のご協力で、自治会、ボランティア、地域クラブにも参加して、交流を図っている                        |        |                                   |
| <b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |    |  |   |        |                                   |
|                             | 4  | ○ 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                   | 管理者・計画作成者を中心に評価の意義を理解し、改善に努力している  |        |                                   |
|                             | 5  | ○ 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている | 運営推進会議は3ヶ月毎に開催され、ホームの運営状況の報告、質疑と、校区福祉委員長さんの熱心な御指導により、地域内の各組織との交流が行われている | ○      | 運営推進会議の開催は、2ヶ月毎となるよう配慮して欲しい       |
|                             | 6  | ○ 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                    | 管理者は常に、市役所担当者との交流を心掛け、情報の交換が出来て、介護改善につながっている                            |        |                                   |
| <b>4 理念を実践するための体制</b>       |    |  |   |        |                                   |
|                             | 7  | ○ 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々に合わせた報告をしている                  | 毎月の文書発送時に、一人ずつの近況報告を見やすく、項目毎に表にまとめて、送付している                              |        |                                   |
|                             | 8  | ○ 運営に関する家族等の意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                    | ご家族来訪時には近況報告を行って、ご意見、ご苦情等を伺うよう配慮し、運営に反映させている                            |        |                                   |

| 外部 | 自己   | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                         | ○<br>印 | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|------|---|---|--------|-----------------------------------|
|    | 9 18 | ○ 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動や退職はあまりなく、新入職員の見習い期間は約3ヶ月としているので、利用者へのダメージは殆ど防いでいる |        |                                   |

## 5 人材の育成と支援

|  |       |  |   |  |  |
|--|-------|--|---|--|--|
|  | 10 19 | ○ 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている     | 法人運営者は、全職員の研修について特に熱心で、職員を全員、4つの委員会のいずれかに出席を定められていて、それぞれ、研修を受けている |  |  |
|  | 11 20 | ○ 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている | 地域内の同業者との連絡会が2ヶ月毎に開催され、情報交流、訪問研修等で、職員のモチベーションも高めている               |  |  |

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

## 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

|  |       |  |  |  |  |
|--|-------|--|--|--|--|
|  | 12 26 | ○ 馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 当初は職員が付添い、不安のないように配慮されている、入所時には、ご家族、本人から生活歴を聞き出して、介護の基本としている |  |  |
|--|-------|--|--|--|--|

## 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

|  |       |   |   |  |  |
|--|-------|---|---|--|--|
|  | 13 27 | ○ 本人と共に過ごし、支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は一人ひとりの介護情報を共有のものとしており、本人と喜怒哀楽を共にできるような関係を築いている |  |  |
|--|-------|---|---|--|--|

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## 1 一人ひとりの把握

|  |       |   |  |  |  |
|--|-------|---|--|--|--|
|  | 14 33 | ○ 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の介護をしている中で発見できた各種の情報を、職員が協力して把握し、活かしている |  |  |
|--|-------|---|--|--|--|

## 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

|  |       |  |  |   |  |
|--|-------|--|--|---|--|
|  | 15 36 | ○ チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | ホーム開設以来の利用者の情報を職員のチーム活動によって記録し、新たな計画作成の基本としている | ○ | 利用者の症状の変化への対応について、医師とも連携で、または、同業者間で情報交流を深めて欲しい |
|--|-------|--|--|---|--|

| 外部                                   | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                    | ○<br>印 | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|--|--------|-----------------------------------|
| 16                                   | 37 | ○ 現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 利用者に変化が見られた場合は、介護計画の変更について、医師、本人、ご家族、職員で検討して実施している                 |        |                                   |
| <b>3 多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |    |   |  |        |                                   |
| 17                                   | 39 | ○ 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                   | 本人、ご家族の事情等から、事業所として出来る限りの支援を行っている                                  |        |                                   |
| <b>4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>    |    |   |  |        |                                   |
| 18                                   | 43 | ○ かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している                    | 掛かりつけ医師は同じ建物内の医師なので、身近に対応している                                      |        |                                   |
| 19                                   | 47 | ○ 重度化や週末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している        | 本人に変化が見られた場合は、早めに、ご家族との情報交換で意志疎通を図って対処している。又、職員全員も情報を共有して介護に当たっている |        |                                   |
| <b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>      |    |   |  |        |                                   |
| <b>1 その人らしい暮らしの支援</b>                |    |   |  |        |                                   |
| <b>(1) 一人ひとりの尊重</b>                  |    |   |  |        |                                   |
| 20                                   | 50 | ○ プライバシー確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない                                     | 特に、言葉かけには職員相互に注意し合って、損ねることのないようにしている                               |        |                                   |
| 21                                   | 52 | ○ 日々の、その人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                    | 職員側の業務の流れに沿った介護にならないように、利用者の希望を優先するよう支援している                        |        |                                   |
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |   |  |        |                                   |
| 22                                   | 54 | ○ 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている                         | リクエストに応じられるように配慮し調理されている、利用者の食事への手伝いは、現状では全員困難となってきている             |        |                                   |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○<br>印 | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)             |
|----|----|----|---|--------|---|
|    | 23 | 57 | <p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> |        | 入浴は全員、希望に沿って入浴していただいている。体調によっては、入浴時間の変更も可能である |

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

|  |    |    |   |  |   |
|--|----|----|---|--|---|
|  | 24 | 59 | <p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> |  | 職員は一人ひとりの好みに合わせて日々、過ごせるように支援している                            |
|  | 25 | 61 | <p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>                   |  | 希望によっては、市域が狭いので行き易さもあり、以前の住所の近くの喫茶店に行き、旧知の方々との交流を楽しんでもらっている |

## (4) 安心と安全を支える支援

|  |    |    |   |  |  |
|--|----|----|---|--|--|
|  | 26 | 66 | <p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>   |  | 玄関が5階で、出入りはエレベーターのみとなっている。やむなくエレベーター前ホールは鍵掛としている。(非常階段は別にあります) |
|  | 27 | 71 | <p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> |  | 病院も含めた安全委員会によって定められた避難訓練を年2回、行っている。消防署との連携も実施している              |

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

|  |    |    |   |  |  |
|--|----|----|---|--|--|
|  | 28 | 77 | <p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> |  | 毎日のカロリーは把握されており、水分摂取もチェックされています。又、体重は月一回記録され管理されています |
|--|----|----|---|--|--|

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

|  |    |    |   |  |  |
|--|----|----|---|--|--|
|  | 29 | 81 | <p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> |  | 共用空間は明るく近代的な雰囲気であり、5階なので見晴らしもよく、過ごすことが出来ます |
|  | 30 | 83 | <p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>                   |  | 各個室内は、各自で家財道具類を置いて過ごしている                   |